

**第８０回国民スポーツ大会（青の煌めきあおもり国スポ）
アーチェリー競技会について（概要）**

1. 期 日 競技日程 ２０２６年１０月 ５日（月）～７日（水）
 監督会議 ２０２６年１０月 ４日（日） １６：００
2. 会 場 競技会場 カクヒログループアスレチックスタジアム
 監督会議 カクヒログループアスレチックスタジアム
3. 都道府県予選・ブロック大会について
 (１)各都道府県予選会は本大会の実施要項に基づき、７０mを含む競技により実施する。
 (２)各ブロック大会は、７０mラウンドで実施する。
4. 予選結果の報告について
 (１)各都道府県協会(連盟)は、ブロック大会開催２週間前までに、全選手の都道府県予選の成績表（Ａ４）１部をブロック大会の開催地協会(連盟)事務局あて提出すること。
 (２)ブロック大会の主管協会（連盟）は、大会終了後翌日午前中までに、ブロック大会結果報告書を本連盟事務局あてに送信すること。これにより監督配分会議をおこなう。
 (３)ブロック大会の開催地会長は、ブロック大会終了後、すみやかに（８月２６日までに）、(１)の都道府県大会予選およびブロック大会成績報告書（国スポ第１号様式）・成績一覧表（Ａ４）１部を本連盟あて報告すること。
5. 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準について
 総則５に定めるもののほか、次による。
 (１)参加選手は、本年度の全日本アーチェリー連盟に会員登録を完了し、「Ａ・Ｊ・Ａ・Ｆターゲットスターバッジ」の資格を取得している者。監督は、本年度の全日本アーチェリー連盟に会員登録を完了し、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導員制度に基づく、公認アーチェリーコーチ１、公認アーチェリーコーチ２、公認アーチェリーコーチ３、公認アーチェリーコーチ４のいずれかの資格を有する者であること。
 (２)各予選の結果、代表として選抜された選手をもってチームを編成しなければならない。
 (３)少年種別に参加できる選手には、２０１１年４月２日から２０１２年４月１日までに生まれた中学３年生を含む。
 (４)選手、監督の兼任はできない。
 (５)本項に定める事項は、都道府県大会にも適用する。
6. 参加上の注意について
 (１)参加者のユニフォームは、チーム内が単一のもので上衣には都道府県名が明記され、下衣は統一されたものであり、競技会場・練習場においては 監督・選手とも全日本アーチェリー連盟競技規則による統一されたユニフォームを着用すること。
 (２)選手の事情により、得点記録に代行者が必要な場合は、監督会議前日までに届け出なければならない。また、代行者の服装は選手と同様とする。
 (３)監督は、交付される監督ＩＤ（ＡＤ）カード、帯同コーチは「帯同コーチＩＤ（ＡＤ）カード」を、競技会場内では必ず視認できる箇所に付けること。
 (４)用具検査時には、監督は資格を証明する登録証を提示する。選手は全日本アーチェリー連盟の会員証と「Ａ・Ｊ・Ａ・Ｆターゲットスターバッジ」を提示する。
 (５)用具検査は、４日（日）の１３：００から１６：００の間に用具検査テントにおいて全チームが受け、５日（月）（全種別８：３０から９：００）の競技開始前に実施する用具検査は、４日に実施できなかったチームと再検査チームのみが受けること。
 (６)表彰式には、監督・選手ともにユニフォームを着用し、必ず参加すること。
 (７)開催地において配宿する人数は、原則としてエントリー数のみとする。

(8) 監督会議には、監督は必ず参加すること。

7. 監督について

- (1) 監督は、本年度の全日本アーチェリー連盟に会員登録済みの者。
- (2) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導員制度に基づく資格を有する者。
- (3) 監督数については、総数52名以内(1都道府県2名以内)とし、8月26日(水)の監督配分会議により調整する。監督数は、「監督配置数の調整方法」により確定し、2種別出場でも監督2名とは限らない。
- (4) 帯同コーチを配置する都道府県は、「表彰状へ記載する監督名報告書」(国スポ第3号様式)を必ず提出すること。
- (5) その他、詳細については〔資料2〕に記載。

8. 帯同コーチについて

- (1) 監督を補助する目的で、競技運営・選手の行動が円滑に進むように帯同コーチを認める。
- (2) 国スポ正式参加者とならないので、大会プログラムには氏名は記載しない。
- (3) 帯同コーチの資格について
 - ① 公認スポーツ指導員資格は不要。
 - ② 本年度の全日本アーチェリー連盟に加盟団体から会員登録済みの者。
 - ③ 申し込みチームと本連盟登録した都道府県が同一であること。※来年度の宮崎国スポからは「日本スポーツ協会公認スポーツ指導員制度に基づく資格を有する者とする」ので、引き続き資格取得推進にご協力をお願いします。
- (4) 申請は、全日本アーチェリー連盟事務局に行い、青森市実行委員会が「帯同コーチID(AD)カード」を発行する。 なお、当日の受付は原則行わないので注意すること。
- (5) その他、詳細については〔資料3〕に記載。

9. トレーナー(コンディショニングコーチ)について

- (1) 選手のコンディショニングを整える目的で、選手休憩エリアでの施術を認める。施術は自身の都道府県に与えられた椅子やテーブルの置かれている範囲内で行うことができる事のみとする。
※ベッドなど大型の機器使用に伴う施術をする場合は、競技会場外で行うこと。
- (2) 国スポ正式参加者とならないので、大会プログラムには氏名は記載しない。
- (3) トレーナーの資格について
 - ① 公認アスレチックトレーナーなどの有資格者が望ましい。
- (4) 申請は、全日本アーチェリー連盟事務局に行い、青森市実行委員会が「トレーナーID(AD)カード」を発行する。 なお、当日の受付は原則行わないので注意すること。
- (5) その他、詳細については〔資料3〕に記載。

10. 視察について

- (1) 視察員については、原則5年後までの国スポ開催県(市町)実行委員会と協会(連盟)の入場を許可する。それ以降の開催県で視察を希望する場合は、事前に青森市実行委員会に問い合わせること。
なお、当日の受付は原則行わないので注意すること。
- (2) 視察申請は事前に青森市実行委員会に行い、申請があった者に視察員ID(AD)カードを発行する。
- (3) その他、詳細については〔資料3〕に記載。